

きぼうのて能登

写真作品展

図工・美術教育を通しての児童・生徒の授業支援及び交流活動

2024年11月1日(金)～11月12日(火)

10:00～21:00

1日(金)は14:00から 12日(火)は11:00まで

飯田橋ラムラ (RAMLA)

1階区境ホール

東京都新宿区神楽河岸1-1

TEL03-3235-0181

観覧無料

子どもたちが被災地を励ます写真を撮りました

OTOZONZON
EHOZONCOBIK

石川県
珠洲市立直小学校
珠洲市立上戸小学校
東京都
新宿区立津久戸小学校
新宿区立天神小学校
国分寺市立第七小学校
日野市立滝合小学校
八王子市立山田小学校

「きぼうのて能登プロジェクト」

能登半島地震復興支援「きぼうのて能登プロジェクト」は、今年の1月の能登半島地震被災地の小・中学校の図画工作科・美術科の授業支援を通して、「希望の手」をテーマに子どもたちが写真撮影し、その作品展示を進めるプロジェクトです。そして同じテーマのもとに東京や岩手の子どもたちが取り組んだ同題材の交流を図り、子どもたちの復興の想いを、お互いに確かめ合う取り組みを進めています。

この活動の始まりは 2011 年東日本大震災時に東京都図画工作研究会（東京都内の公立小学校の図画工作専科教諭が所属する研究団体）の会員有志の呼びかけで始まった。岩手県と東京の子どもたちの作品交流を通して、復興に向けた「2011きぼうのてプロジェクト」活動にさかのぼります。その作品は震災復興の象徴として、岩手県と東京の小・中学校で展示され、さらに岩手県立美術館やフランスやスペインの会場で巡回展示されました。

今回も石川県珠洲市立直小学校・上戸小学校・緑丘中学校で、授業支援させていただき、被災地の子どもたちが制作する輝かしい時に立ち会うことができました。今後、交流作品展は被災地や東京、岩手の学校等でも開催したいと考えています。



TITLE・空に浮かぶハート



ここに石川県・東京都の子どもたちによる「きぼうのて」作品をお届けします。さりげなく写る「手」とその「手跡」には、今を生きる子どもたちがとらえた、能登半島地震からの復興の想いがあります。

その素朴な想いは、観る者に何かを投げかけています。

きぼうのて能登実行委員会

- | | | | |
|---------------|-------|----------------|--------|
| 石川県珠洲市立直小学校長 | 道端 専次 | 東京都新宿区立津久戸小学校長 | 本間 基史 |
| 聖学院大学特任教授 | 柴崎 裕 | 東京都新宿区立天神小学校 | 河原 賢一 |
| 岩手県一関市立磐井中学校 | 柴田 利行 | 東京都八王子市立山田小学校 | 池田 頼太 |
| 東京都国分寺市立第七小学校 | 河原 文香 | 東京都日野市立滝合小学校 | 安藤 伸子 |
| 石川県輪島市立町野小学校 | 角間 建介 | 岩手県立美術館 学芸員 | 佐々木 倫生 |

協力：NPO 法人市民の芸術活動推進委員会（CCAA）

協賛：美術出版エデュケーショナル

APA 日本広告写真家協会



きぼうのて